

令和 6 年度 第 2 回恵庭市地域公共交通活性化協議会 会議録
(事務局：生活環境部生活環境課)

1. 開催日時 令和 6 年 10 月 23 日（水） 午前 10 時～午前 11 時

2. 開催場所 市民会館 2 階 大会議室

3. 出席者等

出席者： 経亀 真利、中山 光広、杉村 勝彦、笹森 慎太郎、早野 東治
金田一 秀美、佐々木 正博、竹内 春実、神田 美佐子、亀石 和代
新山 禎男、望月 伸一、横道 義孝、野村 孝治（敬称略）

欠席者： 藤吉 丈伸、島田 圭一、野村 信史、高橋 国広、井元 秀樹
高橋 英雄、山下 主税（敬称略）

随行者： 1 名

傍聴者： 0 名

事務局： 茅野 寿也（生活環境部長）、小路 弘樹（生活環境部次長）
桑原 一徳（生活環境課長）、鈴木 強（同主査）、谷村 直宏（同主査）
齋藤 佳子（同職員）

4. 協議会の経過

(1) 開 会

(2) 会長挨拶

(3) 議 題

『報告第 1 号 令和 6 年度エコバス等の利用状況について』

－事務局から資料に基づき報告－

－質疑なく了承－

『報告第 2 号 令和 7 年度地域内フィーダー系統確保維持計画の認定について』

－事務局から資料に基づき報告－

－質疑なく了承－

『議案第 1 号 令和 6 年度エコバス冬期便（恵庭南高校直行便）の運行及び事業者選考
について』

『議案第 2 号 令和 7 年度えにわコミュニティバス等の運行及び事業者選考について』

－事務局から資料に基づき一括説明－

－異議なく決定－

『議案第 3 号 令和 6 年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価(一次評価)について』

－事務局から資料に基づき説明－

－異議なく決定－

『議案第 4 号 エコバス既存路線の改善等と新規路線の設置の検討について
(第 1 回エコバス路線検討分科会 検討結果)』

－事務局から資料に基づき説明－

A 委員)改善案 2 の既存の円循環路線を維持しながら、新規路線の案 2 を出すということで、課題となっていた運転手さんの休憩時間が安全運行の観点から確保できること、これまで運行されていなかった地域の人がエコバスに乗ることができるといったことが考えられます。既存路線の改善によってパターンダイヤが若干崩れますが、現行と比較して見た場合に大きく崩れるということでもないと思いますので、その辺は付帯意見にもあるとおり、市民の方が譲り合ってという考え方に基づいて運行していくのがよろしいのではないかと思います。また、これまでの円循環路線と新設路線で一部重複するルートがあるので、利用者にとっては今までの運行よりも選択肢が少し広がるのかなということと、それに伴って乗車人数も大きく増加することが見込まれるということなので、それぞれ案 2 でよろしいのではないかと思います。人口減少や高齢化社会の進展で、どこに行くにも足の確保が非常に課題になっていると思いますので、既存路線を活かしながら新たな路線を設定して市民の足を確保するという部分からも良いのではないかと思います。

B 委員)新規路線で確認したいことがあります。新規路線の目的は病院への通院の足を確保することで合っていますか。また、新規路線の運行の本数や時間帯のイメージがあれば教えてください。

事務局)新規路線の目的は、病院への通院の足の確保も目的のひとつです。他に、既存路線は乗っていれば目的地の停留所に着くので非常に分かりやすいのですが、1 周 2 時間弱掛かるため、目的地まで時間が掛かりすぎるといった意見もありますので、新規路線では既存の円循環の内側を通り駅間の移動を早くし、駅でのバス乗換えにより目的地まで早く着くことができるようにすること、利便性の向上を図ることも目的と考えております。運行本数に関しましては、1 周 1 時間位掛かるということで、ダイヤと合わせて分科会で検討していきたいと考えております。

B 委員)通院を目的とするには良いと思いますが、駅間の移動の話もありましたので、恵庭市には JR 駅が 3 つありまして、バスが JR への乗り換えのための移動の手段としては

良いと思いますが、JR 駅間の移動でバスが JR と競合するような形でお互いに乗客を取り合うことがないようにという意図があって確認させていただきました。島松駅から恵庭駅までは、バスでは 200 円、JR では確か 250 円、時間の優位性や料金などで乗客の選択肢を広げるというのはすごく良いことではありますが、昨今の利用者の減少を踏まえるとバスと JR が競合しないような時間、本数の設定について考えていただければと思います。

事務局) 新規路線の考え方は駅に人を集めるような形として考えていますので、運行の時間、本数については留意してまいります。

Ｃ委員) 新規路線は既存の停留所にも停まるので、利用者が既存のバスと間違っ
て新規路線のバスに乗ってしまうことも考えられます。既存路線のバスと新規路線のバスで識別しやすくすると利便性が増すと思います。また、来年度は実証実験という形になりますので、国の予算はまだ確定しておりませんが、実証実験に合うような支援メニューも用意されていると聞いています。そういったものも活用しながらより良いものになっていただければと思います。予算が確定次第、情報提供させていただきます。

事務局) ご指摘のとおり新規路線も利用者へ浸透するまで時間が少し掛かるとお思いますので識別できるようにしていきたいと考えております。

－他に質疑応答なく、異議なく決定－

『その他』

－特になし－

(4) その他

－D 委員及び C 委員から資料に基づき情報提供－

5. 閉 会 午前 11 時終了



以 上